

窓口支援事例 【佐賀県 知財総合支援窓口】

企業情報

げんきな大地 SAGA

所在地	佐賀県佐賀市		
ホームページ URL	http://genkinadaichi.com/		
設立年	2013年	業種	農林水産業
従業員数	7人	資本金	500万円

企業概要

我々、げんきな大地 SAGA は、風光明媚な中山間地の佐賀市三瀬村にて、耕作放棄地を中心に農地の利用増進契約を結び、「未来の子供達の食の安全はげんきな土から生まれる」をコンセプトに、フードマイレージを低く抑え、ネットワークやコミュニティを通して地域の暖かい繋がりを創っていくことが、若者を引きつけ、地域を活性化し楽しい社会を創出するという理念のもと活動しております。



自社の強み

消費者の皆様へ共感・共鳴していただく農業を展開するため、1年に1回、環境型農業啓発イベント&マルシェを開催しており、これにより生まれた生産者同士の横の連携・強い絆を持っていることが、我々の強みです。

このイベント&マルシェでは、代表の大坪の脚本による、我々のコンセプト「みつせてっぺん物語」の映画化・舞台化や、基調講演、パネルディスカッション、ミニコンサート等も開催しています。また、お客様とふれあい、三瀬の自然の中で行う「自然農」、そしてそこで生まれる農産物の種まきから収穫までの作業風景を、HP や Facebook、YouTube で動画・写真の公開をしています。この効果もあり、2016年産のお米は予約殺到しております。

さらに、農産物を提供するにあたっては、栄養士・産婦人科の医師と連携して、農産物の成分分析、栄養学的価値を数値化し、より安心な農産物をお客様に提供するようにしております。



一押し商品

みつせてっぺんに広がる水田は、きれいなままの水が残りミネラル豊富な土壌をつくります。我々は、この美しい環境をブランドとして確立すべく、【みつせてっぺん物語】を商標登録しました。(商標登録第5877900号)

このてっぺんの水田で、自然の力だけで育ったお米は、余分なたんぱく質も抑えられており、また、刈り獲ったお米を天日干して日中ゆっくりゆっくり穂の水分を落とすことによって、穂に旨味がぎゅっと凝縮されています。特に栄養と体調管理が求められる妊婦さんに最適なお米です。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同グループは、佐賀市三瀬村において自然の力だけで育てたお米を中心に農産品にまつわる物事を、物語形式で商品 PR を行っていくことに際し、「佐賀県よろず支援拠点」の支援を受けられました。その中で、ブランドを確立させるために商標登録の取得提案を受け、よろず支援拠点から知財総合支援窓口を紹介いただいたことがきっかけです。

最初の相談概要

同グループは、「みつせてっぺん物語」の名称ロゴでブランドを確立し販売につなげたいとの意向を強くお持ちでしたが、地名である「みつせ」が名称に入っているため商標登録出来ないのではという考えを持たれていました。知財総合支援窓口からは、商標制度、登録の対象、登録とならない商標等を説明するとともに、地名が入るから商標登録出来ないわけではないことを事例に挙げて説明し、類似する先行商標があるかの調査について指導を行い、商標の権利範囲（指定商品・指定役務）の検討・助言を行いました。

その後の相談概要

商標の出願、指定商品（指定役務）に関し配置専門家（弁理士）の助言を得て、今後の展開を考慮し農産品の加工品を含め商標出願されることになったため、知財総合支援窓口で電子出願手続の支援を行いました。また、既に名称ロゴを使用しているとのことで早期審査制度を利用したいとの意向もあり、早期審査の事情説明書提出に係る支援も行いました。指定商品が多い事で拒絶理由通知が届きましたが、個人名での出願ではあるもののグループの農業従事者等が関わっていることから、対応策に関し配置専門家（弁護士）の助言を得て、「商標の使用を開始する意思」、「事業計画書」を提出することで拒絶理由の解消ができ、商標登録となりました。

窓口を活用して変わったところ

商標の相談をする中でブランドに対する意識が高まり、農産物だけでなく今後展開を予定されている加工品にも権利範囲を広げ商標権を取得されたことで、HP・Facebook での動画配信やイベント&マルシェでの PR も積極的に行われています。よろず支援拠点の支援も受けられているため、更なる販路拡大が期待できると思われます。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

私達はよろず支援拠点に相談したことがきっかけで、知財総合支援窓口を利用させて頂き、自社のブランド力を高めるために商標登録させて頂きました。支援窓口のご担当者様が丁寧に相談に乗って頂き、様々な解決法を頂きました。皆様も商品のブランド力強化の為にお気軽にご相談されてみて下さい。

窓口担当者から一言（氏名：市丸 美津子）



農業従事者等のグループの代表者からの相談であり、佐賀市三瀬村で自然の力だけで育てたお米に自信を持たれており、他の農産品にも力を入られている熱意に打たれ、商標権の権利範囲をしっかりと確保できるよう支援を行いました。佐賀の地から『食の安全はげんきな土から生まれる「みつせてっぺん物語」』が、全国に届くことを期待しています。